

平成 29 年度 活動レポート : ニューファーマー講座の開設

■背景とねらい

就農して3年未満の青年農業者及び新規就農里親支援事業によりIターンでの研修生を対象として、農業経営に必要な知識と技術を習得し、経営感覚に優れた担い手を育成するために、ニューファーマー講座を開催した。

作目別の講座や総合講座、複式農業簿記基礎講座などを開催して幅広い知識、技術の習得支援を実施した。

■本年度の取組と成果

- ・開催期間 平成29年4月～29年2月
- ・開催した講座、回数
果樹りんごコース6回、ぶどうコース7回
野菜講座、花き講座
特別講座：青年農業者プロジェクト・意見発表大会、農作業安全講習会、複式農業簿記講座4回



■今後の課題と対応

就農して間もない新規就農者や里親研修生のネットワークづくり、技術情報の交換の場となっていることから、共通する課題を設定して課題解決の支援活動、次年度の講座内容に反映させる計画である。

(担い手・経営係)

平成 29 年度 活動レポート : 伝統野菜フォーラムの開催

■背景とねらい

長野地域には、信州の伝統野菜として選定・認定されている野菜が14種あり、貴重な地域資源として、種や食文化が伝承されてきた。一方で、生産者の高齢化や担い手不足による生産量の減少等の課題が生じている。

このため、課題解決に向け先進地事例調査をし、関係者を一堂に会した「伝統野菜フォーラム」を開催した。

■本年度の取組と成果

<先進地事例調査>

伝統野菜をブランド化し関係機関が一丸となって販売戦略を展開している金沢市、京都市を視察した。両市ともJAが中心となり、ブランド認定し有利販売を行い、また、形質の維持と種の保存を図るため、モデル圃の設置や形質調査を行っており、生産振興する上で参考となった。

<伝統野菜フォーラム>

平成29年10月24日に開催(生産者、実需者50名参加)し、坂城町のおけるねぎみ大根、信濃町におけるぼたごしょう、小布施丸なすについて、団体代表者から課題、取組みの経緯、今後の展開について発表しあった。また、金沢市・京都市の先進地事例紹介取組みを紹介のほか、信州大学松島准教授による課題解決に向けた示唆を与える事例紹介や種の保存に向けた取り組み方法の講演説明を受けた。

このほか、消費拡大を図るために、伝統野菜や加工品の展示、横山タカ子さんによる食べ方の紹介を行った。

■今後の課題と対応

課題解決に向けて、それぞれの生産団体を指導、支援していく。認定エリアの拡大や生産者の増大に向けた取り組みを行っていく。

(担い手・経営係)